

事業にご参加下さい！

会長 浅野高宏
日頃、「父母の会」の事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は3月11日に東日本大震災が発生し、日本中が大きな衝撃と悲しみに見舞われました。福島原発も放射能漏れという大変な事態におちいり、各地に影響が及んでいます。被災されました皆様に謹んでお見舞い申し上げますと同時に、「なんばろう！日本！」を合言葉に、復興に向けて皆で協力していきましょう。

さて、「父母の会」は、大学の教育活動を援助し、学生及び教職員の教育ならびに福利の増進を図り、大学と家庭との連絡協調を緊密にするとともに、相互の理解と協力により、大学の発展に寄与することを目的としています。主な事業としては、①全体総会、②各支部総会、③学園祭である紅葉祭に併せて行う文化講演会、④奨学貸付事業、⑤部活動への援助、などを実施して参りましたが、少子化により入学生が減少しており、全体の予算としては減少となっております。限



日頃、「父母の会」の事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は3月11日に東日本大震災が発生し、日本中が大きな衝撃と悲しみに見舞われました。福島原発も放射能漏れという大変な事態におちいり、各地に影響が及んでいます。被災されました皆様に謹んでお見舞い申し上げますと同時に、「なんばろう！日本！」を合言葉に、復興に向けて皆で協力していきましょう。

さて、「父母の会」は、大学の教育活動を援助し、学生及び教職員の教育ならびに福利の増進を図り、大学と家庭との連絡協調を緊密にするとともに、相互の理解と協力により、大学の発展に寄与することを目的としています。主な事業としては、①全体総会、②各支部総会、③学園祭である紅葉祭に併せて行う文化講演会、④奨学貸付事業、⑤部活動への援助、などを実施して参りましたが、少子化により入学生が減少しており、全体の予算としては減少となっております。限

られた予算の中で、会の目的を達成するためにどうしたら効率の良い事業展開が出来るかが、今後の課題だと思います。こういう時こそ会の必要性を再認識していただいて、皆様のお力で父母の会を盛り立てていただきたいと思います。

総会には、毎年多くの会員の出席をいたいでいますが、少子化などの影響による入学生の減少で会員の総数も減少しています。各支部総会では、講演会や、大学の教職員の皆様からの大学の現況報告、個別面談、学生からの就職活動発表など、総会に出席できなかつた方々にも参加していただけるよう趣向を凝らして開催しています。

どうか父母の会の事業に積極的に参加してくださいますようお願い申し上げます。

最後に、新潟産業大学と父母の会の益々の発展のために、皆様方のより一層のご協力を願っています。



題字
初代会長育木貞元氏

所学事務局
新潟産業大学
〒945-1393
新潟県柏崎市蛭井川4730
☎ (0257) 24-6402
FAX 22-8241



新潟産業大学 学長 広川俊男

会員の皆様には、いつも温かいご支援を賜ります。心より感謝申しあげます。

今年は、4年制の新潟産業大学が誕生して25年目にあたり、前身为短期大学、および創設されたことになります。卒業生は既に1万人を超え、世界の各地で活躍しています。

私は昨年、中国、韓国、インドネシアを訪ねましたが、行く先々で卒業生（日本人と留学生）にお会いすることができ、大変心強く、頼もし感を感じると同時に、あらためて本学の歴史と存感を再認識しました。

そして、もうひとつ認識を新たにしたことは、本学の「小さな大学」という特性でした。彼らと私は、会場で登場する教職員や友人たちの有名詞をほぼ完全に共有できたのです。小さいが中身が濃く、ぎっしり詰まつた様子を示す「コンパクト」こそ、わが新潟産業大学の特質であり、マンモス大学ではまねのできない特性です。私は、この特性を学生一人ひとりの成長につき意識して実行することを呼びかけています。

①教職員との会話の時間を増やす。
②挨拶できる友人を増やす。（自分から声をかけれる。小さいがゆえに、それ違う機会は断然多いはず。）
③大学が有する学生支援の機能や制度をトコトン活用する。

活動内容は、以下のスケジュールをご覧下さい。年1回、6月の第2土曜日に実施している総会では、①大学の現状報告、②4年生による就職体験談の発表（就職難なこの時代にどう立ち向かい内定を勝ち取ったかを事例を挙げて発表する）、③学生の成績や就職状況、学生生活全般に関する個別面談、などを挙げ、終了後は、保護者と大学教職員で懇親会が行われます。是非この機会に、大学の状況やお子様の様子をお聞き、ただくとともに、大学教職員と、また保護者同士で情報交換を行っていただければ幸いです。

この他にも、父母の会主催の「文化講演会」を学園祭当日に実施いたします。こちらもご参加くださいますようお願いいたします。

最後に、二〇一二年は「部活動飛躍の年」になると予感します。水球の青柳勲先生と小出未来さん（1年生）が日本代表選手として、ワールドリーグ戦への出場を目指しています。ライフセービングの全国大会が柏崎で開催されることが決まり、本学の選手やOBの活躍をご観戦できます。

伝統ある卓球部にとって久々に二桁の選手が揃いますし、空手部、ゴルフ部なども、全国大会レベルでの活躍が期待できます。

これまで以上のご支援ご声援をお願い申しあげます。

最後に、二〇一二年は「部活動飛躍の年」になる予感します。水球の青柳勲先生と小出未来さん（1年生）が日本代表選手として、ワールドリーグ戦への出場を目指しています。ライフセービングの全国大会が柏崎で開催されることが決まり、本学の選手やOBの活躍をご観戦できます。

「役員募集中！」

平成24年度の「父母の会」役員を募集しております。大学のこと、学生たちのことを一緒に考え活動してみませんか。我こそはという方は、父母の会事務局（0257-24-6402）までご連絡ください。

『父母の会』年間事業

二〇一二年の新潟産業大学

「父母の会」の目的は、大学と家庭が連携しながら、大学で学ぶ学生たちがより快適な大学生活が送れるよう、側面からバックアップすることです。

「父母の会」の目的は、大学と家庭が連携しながら、大学で学ぶ学生たちがより快適な大学生活が送れるよう、側面からバックアップすることです。

預金一覽

(平成23年3月31日現在・単位:円)

種別	金額	満期日	備考
事業積立金	定期預金 NO. 2142391	420, 000 平成23年 6月16日	平成2年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スバ-定期自動継続) 利率0.06%
	定期預金 NO. 2142419	510, 000 平成23年 6月16日	平成2年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スバ-定期自動継続) 利率0.06%
	定期預金 NO. 2142420	510, 000 平成23年 6月16日	平成2年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スバ-定期自動継続) 利率0.06%
	定期預金 NO. 2142422	445, 000 平成23年 6月16日	平成2年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スバ-定期自動継続) 利率0.06%
	定期預金 NO. 2142423	455, 000 平成23年 6月16日	平成2年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スバ-定期自動継続) 利率0.06%
	定期預金 NO. 2142424	445, 000 平成23年 6月16日	平成2年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スバ-定期自動継続) 利率0.06%
	計	2, 785, 000	
奨学基金積立	定期預金 NO. 2235327	2, 016, 381 平成23年 6月9日	平成6・7年度 奨学基金積立 第四銀行(スバ-定期成長型) 利率0.06%
	定期預金 NO. 2235328	1, 512, 288 平成23年 6月9日	平成8年度 奨学基金積立 第四銀行(スバ-定期成長型) 利率0.06%
	定期預金 NO. 2235329	1, 512, 288 平成23年 6月9日	平成9年度 奨学基金積立 第四銀行(スバ-定期成長型) 利率0.06%
	定期預金 NO. 2235330	1, 512, 288 平成23年 6月9日	平成10年度 奨学基金積立 第四銀行(スバ-定期成長型) 利率0.06%
	計	6, 553, 245	
	合計	9, 338, 245	
決済用普通預金	866, 455		北越銀行柏崎支店 №458160
	2, 045, 000		* 351082 特別会計奨学費
	計	2, 911, 455	
決済用普通預金	1, 800, 000		" No.482517 入会者会費振込用

父母の会会計

(単位: 円)

収入の部					(単位：円)
科 目	22年度予算額	22年度決算額	比較増減	摘要	23年度予算額
会費（新入生のみ）	1,800,000	1,800,000	0	20,000円×89名=1,780,000円(1年生) 10,000円×2名=20,000円(院生・編入生)	1,420,000
当年度事業積立金繰入	1,520,000	1,520,000	0	過年度に徴収した平成22年度事業積立金取崩分	1,385,000
雑収入	30,000	45,906	△ 15,906	懇親会費、預金利息	30,000
前年度繰越金	1,121,414	1,121,414	0		866,455
計	4,471,414	4,487,320	△ 15,906		3,701,455
支出の部					(単位：円)
科 目	22年度予算額	22年度決算額	比較増減	摘要	23年度予算額
事務費	10,000	9,039	961	通信費・振込手数料他	10,000
役員会開催費	150,000	124,036	25,964	通信費・交通費・昼食代他	150,000
総会開催費	300,000	274,338	25,662	通信費・印刷費・懇親会費他	300,000
支部活動補助費	1,000,000	602,611	397,389	北海道東北支部	69,810円
				新潟支部	290,013円
				関東支部	72,756円
				北陸支部	2,050円
				中部東海支部	54,277円
				近畿以西支部	71,245円
				教職員派遣交通費	42,460円
事業開催運営費	350,000	264,494	85,506	文化講演会開催経費	300,000
課外活動補助費	600,000	600,000	0	遠征・強化合宿等、学友会への補助	600,000
会報発行費	40,000	31,347	8,653	印刷費・発送費用	40,000
卒業行事関係補助費	250,000	250,000	0	卒業パーティ経費	250,000
福利厚生費	60,000	20,000	40,000	慶弔費	60,000
奨学生事業費	100,000	100,000	0	留学生を支援する会への寄附金	100,000
23年度事業積立金	455,000	455,000	0	前徴収事業費の当該年度までの積立金	360,000
24年度事業積立金	445,000	445,000	0	前徴収事業費の当該年度までの積立金	350,000
25年度事業積立金	445,000	445,000	0	前徴収事業費の当該年度までの積立金	350,000
予備費	266,414	0	266,414		131,455
次年度繰越	0	866,455	△ 866,455		10,000
計	4,471,414	4,487,320	△ 15,906		3,701,455

企業研究をしたり、説明会に参加したり…と就活を進めていくが反比例して、今までの「なんとかなるだろ」という根柢のない自信は薄れていきました。テスト勉強と同じで、やればやつただけ「これもできない」「あれもまだ元壁じゃない」と自分の未熟さが目に付いて不安になるものだと格思っています。私には、「周りの学生と戦えるような資格も経験もありません。人物的にも、非常に扱いにくい」と思っています。しかし、私は武器がありました。それは、履歴書です。私の履歴書は完璧であります。なぜなら、姉と一緒に考えてもらつたからです。添削をお願いしたとき姉は、「落ち込みやすい私に対して、もう一度内容の否定はしません」と提案してくれました。例えば、「授業に関すること」という欄に私は「環境経済学です。国際研修でアメリカに行き、最初は、観光客がゴミを捨てたり小動物にえさをあげたりということが問題になつていましたが、現地の方々の長年の努力により今はそのようなことはない、そうです。」という文章を書きました。「これでは、『環境経済学の生態系を中心とした国際研修』を実感できました。それは、アメリカでヨセミティ国立公園を行つたときのことです。以前は、環境への不配慮が問題視されていました。しかし、現地の方々の呼びかけにより

10月に朱鷺メッセで行われた合同企業説明会への参加が、私の就職活動のスタートでした。10月のブースが立ち並ぶという規模感と、周りの学生の意識の高さに「自分は場違いなのではないか」と怯んだことをよく覚えています。採用試験を受け始める3月までは、合説のみに参加していました。というよりも、合説に参加することで、就活をしていく気分になっていたのだと思います。私が本格的に採用試験を受けるきっかけとなつたのは、兄です。3歳上の兄と飲みに行つた時に、就活の心得を教えてもらいました。兄流の就活は、「合説で説明を聞いた企業の単独説明会には、興味があつてでもなくとも必ず参加する」という意味でした。人見知りで緊張しやすい私に、兄は「まずは説明会や試験会場、面接の雰囲気に慣れることが必要だ」とアドバイスをくれました。この日は私の「就活を頑張ろう!」と思うことができた1日目です。

企業研究をしたり、説明会に参加したり…と就活を進めていくに反比例して、今までの「なんど」とは私の「就活を頑張ろう!」と思うことができた1

経済学部4年 飯塚あすか

に、そして今は震災の影響で少し元気のない日本にて貢献できる社会人になることが目標です。そしてこれからは私の尊敬する姉・兄とともにたくさん親戚友人をもつてまいりました。

家族、友人はもちろん、進歩状況を気にかけ希望に合った求人を紹介してくださった就職課のスタッフの方々には大変お世話になりました。どうありがとうございました。

不採用でした。その日は、もう限界だ、もう頑張れないと思って本気で思いました。家に着いて、「私は就職できない」と思いました。ごめんなさい」と両親に話しました。すると両親は、「できなくていいよ。バイトでいいよ」といつものように笑いながら言つてくれました。その言葉で、胸がじんわりとあたたかくなりました。自分に「レッシャー」をかけていたのは、いつも自分です。どんだけ自分で変わらす受け入れてくれるのだと改めて実感し、うれしくて安心して涙がでました。

私は4月から、株式会社ナルサワコンサルタンクト様にて事務員として働かせていただきます。高度な技術で社会基盤をつくる、かっこいい会社です。1日でも早く仕事を見る、社員の方々を支えられるような頼もしい事務員になれるよう精進し

す。就活で落ち込んだときに「失敗した?そんなの大丈夫だから、次!また頑張ろう!」と言いやうかの友人の存在は、なにより大きいです。そのおかげで私はすぐ切り替えて、常に1社目を受けるようなフレッシュな気持ちで就活をすることができました。

今でも忘れられない面接があります。いわゆる、圧迫面接で、いろいろ聞かれて、「別にうちじやなくともどこでもいいって聞こえるんだけど」と言われたとき、どうしよう?と思考が停止してしまいました。

今では驚愕の自然の姿を保っています。』という、他の履歴書に埋もれない文章を考えてくれました。私が書類選考を通過できたのはこの履歴書と3年間の真面目な成績がおかげです。

選考が進むにつれ、不採用の通知も増えていきました。そうではないとわかついても、自分を全部否定されたような気持になつてしまふ。そういうときは『人事の方に見る目がなきつたのだ』と思うしかありません。落ち込んでしまえば、『果て改善の余地はありますが、どこが至らなかつたのかは通知に書いてあります。どんなに自分を励ましても、何社も不採用が続くとモチベーションは下がります。それで、もめない精神力を、私は大学生生活で、ついました。この4年間で私は多くの人と出会い、交流を深めました。どんなことがあっても自分に負けない人、素直に自分を表現できる人、自然と周りを惹き付ける人、自分と正反対の価値観を持つ人……たくさんの友人ができました。ときには自分の間違いを認めめる柔軟さも学びました。どうしても自分とは合わない世とは、どのような距離を保てばいいのかという世界

父母の声

昨年実施した父母の会総会に参加された保護者の皆様の声・感想を記しました。

○1年生保護者

学生の生活の様子、講義やカリキュラムの内容などが詳しく説明され、良かった。個別面談では、学生を良く把握しているという印象を持った。

○4年生保護者

大学の様子、就職情報などを知る唯一の機会なので、毎年参加している。来年進学希望の兄弟もあり、進路先の一つに考えている。

○3年生保護者

本日の就職に関する講演会は、3年生の保護者として大変参考になった。是非毎年こういった情報を保護者に提供してほしい。

○4年生保護者

東日本大震災の影響による景気不良に対応した教務の詳細説明、また、就職の講演会の設定は、的を得ていて良い企画だと思った。

○2年生保護者

県外からということで、いつも子供のことは心配している。しかし、コンパクトな大学だからこそ目にかけてもらっていることに対し、とても感謝している。就職難の時代。なんとか頑張って欲しいものである。

○無記名
大学の状況などを詳しく知ることができました。また、厳しい就職の状況を心配しているが、色々と準備されていることを知り安心した。

ご意見・ご感想、ありがとうございます。

コンパクトな大学の良さとは何か。それは、やはり教職員と学生が顔を見ながら、授業のこと、学生生活のこと、就職のことなどについて話し合える体制を構築することであると考えます。

幸い新潟産業大学では、学生が相談したい時にできる体制が整っています。全学年においてゼミナールが必修化されており、必ずどの学年においても担任が存在します。更に、1、2年次には、事務職員がCLA(キャンパス・ライフ・アドバイザー)として各クラスに1名が担当し、教員と2人体制で学生の相談を受けることが可能となっています。

また、医務室にはベテラン看護師が常駐しており、精神科医である校医ならびに非常勤講師も定期的に来校し、学生の相談に応じています。

本学教職員は、保護者の皆様とも色々な場面でお話をいたたく、父母の会の行事には、多くの方々のご参加をお待ち申し上げております。

新潟産業大学学生委員長 高橋成夫



Campus Topics

経済的理由により修学困難な学生を支援する 学費軽減制度について

新潟産業大学では、経済的理由により修学が困難な学生に対し、授業料の半額を免除する制度を導入しています。詳細は、以下の通りです。ご不明な点は、学生課(0257-24-6402)までお問い合わせください。

1. 対象者 本学の学部学生で、学費負担者の年間所得が次表に該当する者(留学生を除く)。

通学形態	自宅通学	自宅外通学
年間所得の上限	300万円程度	350万円程度

2. 学費軽減の期間 平成24年度(1カ年)

3. 学費軽減の範囲 授業料に限り2分の1を上限として軽減します。

4. 申請手続き方法 学生課にある所定の用紙に必要事項を記載するとともに必要書類(授業料減免申請書、家庭状況調査書、市区町村発行のH22年度所得・課税証明書、H23年度の所得金額を証明できるもの、他生活の困難を証明できるものなど。詳しくは、申請書類に記載)を用意し、学生課に締切日までに提出してください。単年度申請であるため、今年度の採用者についても改めて申請する必要があります。

5. 申請書類提出期間 平成24年1月5日㈭～2月17日㈮

6. 審査について 学内において、提出された書類を基に、学費負担者および家計を一にする家族の年間所得、家族構成、奨学金受給の状況、修学意欲等を総合的に審査し、採否を決定します。

7. 通知について 学費軽減の採否については、2月24日㈮に保護者宛に文書で通知します。

父母の会奨学貸付制度について

父母の会では、会員が経済的に困窮し緊急に援助を必要とする場合について、以下の通り無利子で資金を貸し付ける制度を設けています。貸与を受けられる範囲は、新潟産業大学父母の会会員の子弟に限ります。

詳しくは、父母の会事務局(0257-24-6402)までお問い合わせください。

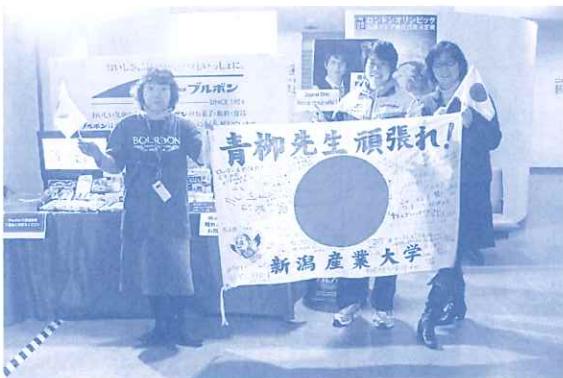
1. 貸付限度額：学納金年額の限度内とします。但し、貸付金は学納金に充当しなければなりません。

2. 返還：貸付年度内に返還しなければなりません。

3. 提出書類：学生課にある所定の用紙に必要事項を記入し、連帯保証人の身分を証明する書類を添え、父母の会会長まで提出しなければなりません。

4. 決定：選考委員会で審査し、父母の会会長が決定します。

5. その他：学籍を離れる場合は、直ちに全額を返還しなければなりません。



右から二人目が小出さん

広川学長、内山学友会長による激励の挨拶のあと、青柳先生、小出さんから「必ず悲願のオリンピック出場の切符を勝ち取る」「代表として選ばれたことを大切にして、力強い誓いの言葉がありました。

ロンドンオリンピック出場を賭けた水球アジア予選の日本代表に、本学助手の青柳 勘先生と経済学部1年小出未来さんが選ばれました。

そして、二人を激励するため、昨年12月7日(水)に本学203教室において、学友会主催により壮行会を実施しました。

水球アジア予選の 日本代表に選ばれる

A group of students, mostly boys, are gathered around a long table in a classroom setting. They appear to be engaged in a practical activity or experiment. One student in a dark suit is standing at the front of the table, facing the others. The room has large windows and a clock on the wall.

壮行会の模様



左から小林君、梅川君、右は2年池田政道君

空手道部 北信越大会で好成績



スタンドから見る試合の模様

達矢君が見事優勝を果たし、同3年生小林匠君が準優勝となり、ワンツーファイニッシュを飾りました。

梅川君と小林君は夫々「今年度はなかなか結果が出せず苦しんだが、練習の成果が漸く実った。いよいよ大学生活最後の年。悔いの残らないよう全力でぶつかりたい」「この調子で春の北信越大会でも良い結果が残せるよう学生生活最後の個人戦に力を出し切りたい」と感想と抱負を話してくれました。

二人の益々の活躍を、期待したいと思ひます。

編集後記

先日、大学のある柏崎市ではしんしんと一晩で60cmの雪が降ったため、公共交通機関が麻痺し先週金曜日の定期試験が延期になるなど、除雪で大童（おおわらは）となりました。地元で見聞きしたことですが、昨年夏から秋にかけてカメムシが大量発生し、蜡蝉（かまきり）の卵が高さ2m程の枝に付いていたという現象から、昔から伝わる冬を占う自然界の感覚は優れているものだと感心している今日この頃です。

父母の会会員の皆様におかれましては、旧年中は大変お世話になりました。また来る新年度に向けて更なるご協力とご理解をお願い申し上げます。

父母の会事務局としましても、会員お一人お一人の顔が見える関係を築き、さらに連携を深めることができると考えます。終わりに私共教職員一同、ご子弟並びに本会を全面的に支援し盛り上げていく所存ですので、今後共よろしくお願ひ申し上げます。